

2011年2月1日

記者各位

東京大学サステイナビリティ学連携研究機構  
機構長 濱田 純一

## 第6回公開シンポジウム 「低炭素地域実現への道すじ」 開催のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京大学サステイナビリティ学連携研究機構（IR3S）では、2007年2月に昭和シェル石油株式会社とともに「エネルギー持続性フォーラム」を立ち上げ、持続可能な社会のための長期的なエネルギービジョンや戦略の構築を目指して活動を行なっています。

本フォーラムの活動の一環として、昭和シェル石油株式会社との共催で、第6回公開シンポジウム「低炭素地域実現への道すじ」を開催いたします。

我々の身近な地域で、今後低炭素化が具体化していくことが想定されますが、その道すじと、将来の低炭素地域の姿は一つに定まったものではありません。それは、県や市、コミュニティ等の異なる地域スケールで、様々なステイクホルダーの思惑が混ざり合うと共に、物理的、財政的な制約や、技術面での新たな可能性の提示の中で決まっていく不確実なものであると考えます。将来の都市・農村を環境にやさしく人々の幸せに結びつくものにするには、この移行のプロセスをどのように取り扱えばよいのでしょうか。

本シンポジウムでは、この問題に対し、地方行政の長、NPOの代表者、研究者、それぞれの視点から講演を行います。更に、講演内容を踏まえたパネルディスカッションを行い、低炭素・自然共生型地域へ向けた道すじのあり方について提言を行います。

つきましては、本シンポジウムについて、事前の開催記事等の掲載、シンポジウム当日の取材を是非お願いいたしたく、ご案内申し上げます。

---

### 第6回公開シンポジウム『低炭素地域実現への道すじ』の概要

- 日時 : 2011年2月28日（月）13:00～17:30  
場所 : 丸ビルホール（東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7階）  
主催 : 東京大学サステイナビリティ学連携研究機構（IR3S）  
共催 : 昭和シェル石油株式会社  
協力 : 三菱地所株式会社  
プログラム : 別添シンポジウムプログラムをご参照ください。  
参加方法 : シンポジウムへの参加希望者は、下記URLよりお申込みください。  
<http://www2.ir3s.u-tokyo.ac.jp/esf/symposium.html>  
※マスコミ関係で参加をご希望される方は、下記担当までお問合せください。  
定員 : 300名（希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。）  
締切り : 定員に達し次第、申込み終了とさせていただきます。

#### 【本件に関するお問い合わせ先・取材申込先】

東京大学サステイナビリティ学連携研究機構（IR3S）

## 第6回公開シンポジウム『低炭素地域実現への道すじ』プログラム

### <プログラム>

#### 開会挨拶

- 13:00～13:05 花木 啓祐 (東京大学大学院工学系研究科 教授  
東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 兼任教授)
- 13:05～13:10 合場 直人 (三菱地所株式会社 常務執行役員)

#### 基調講演

- 13:10～13:50 「低炭素社会と魅力ある地域づくり」  
武内 和彦 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授  
東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 副機構長)

#### 講演

- 13:50～14:20 「自然エネルギーによる『第4の革命』」  
飯田 哲也 (環境エネルギー政策研究所 所長)
- 14:20～14:50 「温暖化を経済学で考える」  
山本 隆三 (富士常葉大学総合経営学部 教授)
- 14:50～15:20 「美しく、環境にやさしい島づくりプロジェクト ～エコアイランド佐渡～」  
高野 宏一郎 (佐渡市長)

15:20～15:35 休憩

#### 15:35～17:25 パネルディスカッション

- モデレーター：城山 英明 (東京大学公共政策大学院 教授)  
パネリスト：講演者4名ならびに 高村 ゆかり (龍谷大学法学部 教授)

#### 閉会挨拶

- 17:25～17:30 新井 純 (昭和シェル石油株式会社 代表取締役社長)